


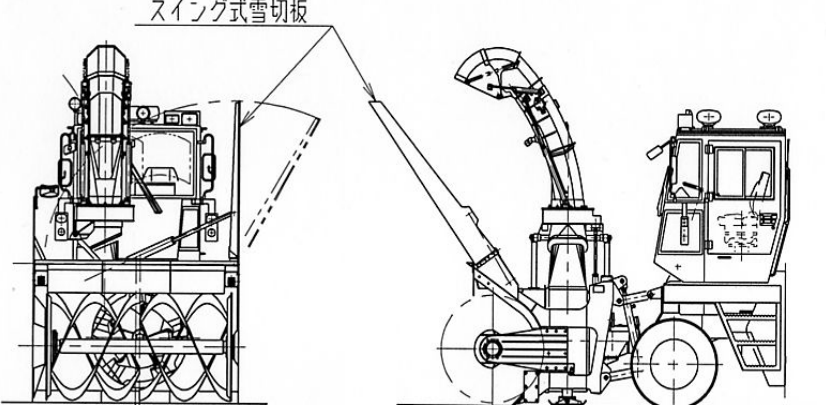


No・オプション名	3) スイング式雪切板
使用機械	ロータリ除雪車
使用工法	雪び・雪堤処理作業
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)
使用法	<p>雪堤等を切り崩してオーガ前方に落していく。外側にも15度程度傾けることができる。左側の路肩に堆積した雪堤を切り崩し、安定した法面となるように外側に開く事が可能な構造となっている。左側通行しながら作業を行うロータリ除雪車は、一般的に右側の雪堤切り崩し作業を行わないため左側のみのオプション装置となっている。</p>  <p>写真 スイング式雪切板で雪堤切り崩し作業中</p>
機能構造	<p>除雪装置の左側に取付ける板状の装置で回送時には油圧シリンダでには油圧シリンダで格納することができる。 中・大型ロータリ除雪車のスイング式雪切板高さ(対応可能な雪堤高さ)は除雪装置下面(作業路面)からの高さを3~3.5m程度としているのが一般的である。標準車では2m弱となっている。</p>   <p>写真 スイング式雪切板(左:格納状態 右:作業姿勢)</p>

<p>特徴</p>	<p>多雪地域で使用される。 標準車に対し1.5m程度(2.2m級ロータリ)高く、3.3m程度までの高さとなった雪堤まで対応できる。油圧シリンダーにて折りたたむ事が出来るので回送時の妨げとならない。 スイング式雪切板は、雪庇処理を段切り(水平な面を切る)でなく垂直又は斜面を切るために開発された。雪堤が崩落しない角度まで雪を落とせば、よい。段切りより、少ないエネルギーで済み、効率的である。その反面、視界は悪くなる。</p>
<p>留意事項</p>	<p>同様の装置にスイングオーガ装置がある。</p>
<p>図・写真</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>図 スイング式雪切板(左:正面図 右:側面図 油圧シリンダーで雪切板の起伏を行う)</p>
<p>備考</p>	